

令和7年度 病院事務局の運営方針

局	病院事務局	局長	中川 拓也
---	-------	----	-------

【基本方針】

市立柏原病院では、市立柏原病院経営強化プランに基づき、地域医療を担う基幹病院として果たすべき役割を再認識し、地域医療の充実と効率的な医療提供を図り、地域医療ニーズに沿った病床運営を進めてまいります。

【重点目標】

1	目標	(1)	安全で安心して健やかに暮らせるまち	分野	医療・保健	令和7年度 達成状況
	医療提供体制の充実					A
2	目標	(1)	安全で安心して健やかに暮らせるまち	分野	医療・保健	令和7年度 達成状況
	持続可能な医療提供体制の確保					D

【達成度について】

- A：達成（目標を達成することができた。100%）
- B：概ね達成（概ね目標どおり達成することができた。70%以上100%未満）
- C：一部達成（目標の一部を達成できた。50%以上70%未満）
- D：未達成（目標達成に向け取り組んだが、目標達成に至らなかった。50%未満）
- E：未実施（事業の取りやめなどにより評価不能又は困難。0%）

局	病院事務局
---	-------

重点目標 1	医療提供体制の充実
--------	-----------

今年度の達成目標
地域医療の拠点として、当院が保有する医療機能を効率的、効果的に提供できるよう地域の医療機関や介護施設との連携強化を図ります。
今年度の達成目標
質の高い医療提供体制を維持するため、診療報酬の請求内容の分析を強化し、より適切な運用を目指します。

達成状況	達成度
令和7年度の紹介患者数は、6,134人、紹介率は71.8%となり、令和7年度の目標値である紹介率56.6%を上回る結果となりました。	A 達成
達成状況	達成度
令和7年度は、8月実績分より診療報酬の請求内容の分析を行った結果、入院診療費の計算の基礎となる病名や治療内容の分類について98件、約620万円の適正化を行いました。	A 達成

具体的取組	
地域の医療機関や介護施設との連携強化に向けた課題整理を行うとともに年間を通じ継続した訪問活動を実施します。	
所管室・課	医事総務課
具体的取組	
急性期入院患者を対象とした診療報酬の包括評価制度（DPC制度）の請求内容の分析を強化し、さらなる改善に取り組みます。	
所管室・課	医事経営課

具体的な取組実績	
令和7年度は近隣の医療機関を中心に延べ378件の訪問を行いました。また、八尾市立病院と相互が有する医療機能や専門性を効率的に活用することを目的に令和8年2月に地域医療連携協定を締結しました。	
具体的な取組実績	
令和7年9月より診療報酬制度に特化した経営コンサルタントを導入し、DPC制度に基づく診療報酬の請求内容についての分析を行いました。また、医師を含むスタッフに対し、分析結果に基づく指導や研修を実施しました。	

総合評価・総括
年間を通じ集患に特化した経営コンサルタントによる訪問活動を展開したことにより、紹介率は令和7年度の目標値を上回りました。また、令和7年9月より診療報酬制度に特化した経営コンサルタントを導入し、診療報酬の請求内容の分析結果に基づく業務改善に取り組みました。

全体の達成度
A 達成

今後検討すべきこと
訪問活動の強化を図るため、当院が紹介を希望する症例獲得を目的とする訪問や、介護施設への訪問回数の増加などの手法を検討してまいります。また、DPC制度に基づく診療報酬の請求内容を分析し、令和8年度診療報酬改定を踏まえた対応を検討してまいります。

局	病院事務局
---	-------

重点目標 2	持続可能な医療提供体制の確保
--------	----------------

今年度の達成目標
急性期から回復期まで切れ目なく提供できる医療体制を維持し、回復が遅れている病床稼働率の向上に取り組みます。 持続可能な医療提供体制の確保を図るため、効率的な診療体制の検討を進めます。

達成状況	達成度
令和7年度の救急搬送件数は、1,750件となり、年間目標の1,800件には僅かに及びませんでした。 令和7年度の年間病床稼働率は70.8%となり、目標としていた87.1%を大きく下回る結果となりました。	D 未達成



具体的取組	
救急搬送患者の受入強化に向けた体制を構築するとともに、課題である予定入院患者数の増加を図るため受入体制の強化に取り組みます。	
所管室・課	医事総務課

具体的な取組実績
救急搬送患者の受入強化に向け、大阪南消防組合と定期的な会合を開催し、円滑な受入ができるよう協議を行いました。また、令和7年10月より外科の対応を強化し、従来の週4日の受入体制を24時間365日対応する体制に移行しました。 予定入院患者数の増加を図るため、近隣の医療機関に対し訪問活動を行い、当院が強みとする消化器疾患や眼科、整形外科等の患者さんの獲得に努めました。



総合評価・総括
大阪南消防組合との定期的な会合の開催や外科の救急受入体制の拡充により救急搬送患者の受入強化に取り組みましたが、目標としていた年間病床稼働率は達成できませんでした。

全体の達成度
D 未達成

今後検討すべきこと
病床稼働率の向上に向け、他の医療機関との連携強化や救急受入に関する医療提供体制の強化など新たな患者さんの獲得に向けた方策を検討してまいります。 また、地域の医療ニーズに合致した医療提供体制の確立に向け、院内で検討を進めてまいります。